

災害住宅補修資金 ただちに貸付けよ

党市議団 札幌市長に申入れ

日本共産党札幌市議団は十日、上田文雄市長に、台風18号で損壊した住宅の改修のために「札幌市「災害住宅補修資金」の緊急貸し付けについて」申し入れました。

札幌市には災害住宅補修資金の貸付制度がありながら、今回の台風の被災者がこの制度を利用しようとしても、申し込みの受け付けそのものをしていないことから、緊急に千歳守都市局長に申し入れたもの

この制度は、「災害を受けた家屋及び軟弱地盤地域において地盤沈下により傾斜した家屋の補修等に必要な資金を貸付る」もの。災害を受けた家屋については、貸付限度額が九十万円。ただ、災害の程度が著しい場合、貸付限度額を超過する

貸付限度額を超過する場合は、別に必要と認めるときは、別に限度額を定めることができます。

台風18号により、札幌市では死者四人をはじめ、全域で最大約六万戸が停電、強風のため住宅の屋根や外壁の破損が多数発生しました。

とくに、個人住宅の屋根、外壁などの破損を受けた市民は、ビニールシートなどで対応しているところが少なくありません。これらの家屋の改修は緊急を要するため、住宅補修資金の活用が被災者にとって切実です。

党豊平・清田・南地区委員会 各区役所訪問 状況聞き激励

日本共産党札幌豊平・清田・南地区委員会は十日、台風被害の調査のため、各区の区役所と土木センターを訪問し、状況を聞いて激励しました。

南区土木センターには池田博地区委員長と岩村よね子前市議が訪問、白土直樹土木部維持管理課長が応対しました。南区では街路樹、路傍樹の倒木、半倒木が推計で八百四十三本に及びました。

豊平区役所、同土木センター、清田区役所、同土木センターには、中山幸敏副委員長と生駒正高前市議が訪問しました。

豊平区内の街路樹、路傍樹の倒木、半倒木は四百七十六本です。

豊平区役所では市民部の石井和夫総務企画課長、豊平土木センターでは山口和男土木部長が応対しました。

同部長は、八日の台風当日、土木センター近くの民家の屋根が飛んで電線にかかり、停電となり、「情報と対応のセンターとなるべき土木センターの情報切断されたい」と区役所などを通じての情報交換と対応という苦しい状況にあった」と話しました。

清田区役所では市民部の松尾省吾総務企画課長、土木センターでは末永尊教土木部長が応対しました。清田区内の倒木、半倒木は推計で百九本です。

開たと言指しました。

札幌 台風被災、敬老パス… 党市議団と市長懇談



上田市長（左から2人目）と懇談する党札幌市議団（右側）17日、札幌市

第三回定例札幌市議会に、貸付利率1多では市を前に十七日、上田文雄市長と日本共産党市議団との定例懇談会が行われました。

日本共産党の小山勝美市議団長は、台風18号の被災状況に随って、強風による家屋の被害や果樹農家の大被害などに万全の対策を要望。市の災害住宅補修資金の受け付けが十五日と遅れたうえ、八月見直し案について、三月の見直し案と基本的枠組みは変わらず、むしろ利用者負担が三月案と比べ、さらにも増えるという指摘。それにもかかわらず、バス事業者との合意だけで利用者・市民の政治姿勢にもかかわる商

意見を聞く場もたず、決めるのは、市民参加を表明する市長の公約にも反するものであり、改悪案は撤回すべきだと強調しました。

上田市長が、やれる範囲内でせりせりの案と繰り返したのに対して、宮川潤幹事長や飯坂宗子副市長からも、市民の声を聞きながらという市長の政治姿勢にもかかわる商

04年9月18日

島松射爆場

国に訓練中止求めよ

札幌市長に党市議団要請

日本共産党札幌市議団副団長、坂本恭子、小形（小山勝美団長）は十七日、上田文雄市長に対して島松射爆場の射爆訓練再開にがんする申し入れをしました。飯坂宗子

副団長、坂本恭子、小形香織の各議員が参加し、田中賢二副市長が応対しました。

航空自衛隊は二十九日から十月一日の三日間、今年四月の実射訓練に

十月二十一日および二十三日の両日、午前八時から午後五時までの間、第三航空団が射爆訓練を行う計画です。

訓練内容については、訓練再開を要請しました。今回も同様、今回は四回目、五回目となり、す。二〇〇二年六月の重大事故以降、中止していた島松射爆場での訓練が再開されたのは二〇〇三年九月ですが、機関砲弾やロケット弾の実射はできませんでした。

ところが、今年に入ると五回も実射訓練を計画

訓練内容については、訓練再開を要請しました。今回も同様、今回は四回目、五回目となり、す。二〇〇二年六月の重大事故以降、中止していた島松射爆場での訓練が再開されたのは二〇〇三年九月ですが、機関砲弾やロケット弾の実射はできませんでした。

ところが、今年に入ると五回も実射訓練を計画

訓練再開を要請しました。今回も同様、今回は四回目、五回目となり、す。二〇〇二年六月の重大事故以降、中止していた島松射爆場での訓練が再開されたのは二〇〇三年九月ですが、機関砲弾やロケット弾の実射はできませんでした。

04年9月21日

札幌市議会

市民負担増は70億円に

市長が施政方針 党幹事長が批判



宮川潤市議

札幌市の上田文雄市長は、二十二日の定例記者

会見で、昨年七月に公表した施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を、二〇〇四年度から〇六年度までの三年間で実施するのための三つのプラン、市民自治推進プラン（案）、市役所改革プラン（案）、中期財政見直しで

年度までの三年間の歳入不足、二百六十五億円を埋めるために、事務事業や人件費、公共事業などの削減とともに、総額約七十億円にものぼる市民負担の計画を明らかにしています。この市民負担増のなかには、十月から進行しようとしている障害者への医療費助成の削減（十八億円）について、敬老

バス見直し、就学援助など国基準に上乗せした補助や単独補助の見直し、家庭ごみの有料化、高校授業料や保育料、市営住宅家賃・市営住宅駐車場使用料など、数多くの使用料・手数料の引き上げが含まれ、かつてない負担増を強いる計画となっています。

日本共産党札幌市議団の宮川潤幹事長は、「札幌市政でも史上例を見ない大改革であり、市民いじめの大攻撃だ。『市民の生活感覚を持つ』としてきた上田市長の政治姿勢にかかわる重大問題であり、公約違反といわざるをえない。このような市民いじめ計画に対して、全力をあげてたたかう」と述べています。

札幌市議会 熊谷市議が代表質問

高齢者に二重の負担押しつけ 敬老パス「見直し」やめよ



敬老パス問題などで上田市長に迫る熊谷市一市議
二九日、札幌市議会

第三回札幌市議会定例会は二十八日から市民質問がはじまり、日本共産党の熊谷市一市議は二十九日、質問を行いました。熊谷市議は、敬老パスの見直し問題、札幌市財政構造改革プラン、新まちづくり計画、台風被害への救済などについて上田文雄市長の姿勢をたずねました。

多くの利用者が現行制度の存続を強く求めてい

る敬老パス（敬老優待乗車券）の見直し問題で、上田市長は市の財政負担を減らし、利用者の自己負担の導入と利用上限額の設定を行うと意図を伝えるつもりがないことをあらためて述べました。

熊谷市議は「市は見直し案の自己負担額を千億円も増やし、高齢者に負担を押しつけています。負担を減らすべきものを高齢者に押しつけている」と述べ、現行制度の存続を示し、現行制度の導入と利用上限額の設定をなくすよう求めました。

上田市長は「（千）億円も増やせば市民の負担が重くなる」と述べ、現行制度の導入と利用上限額の設定をなくすよう求めました。

「その通りだ」との声が飛びました。「大切にされるべきは高齢者、市民の声を聞く必要があるのか。現行制度存続を望んでの百五十二回体の議案と署名をした五万人以上の声を市長は無視するのかわりと迫りました。

上田市長は市民の意見を重視し「可能な限り議論を尽くしてきてきた」とその上での新たな制度を提示した」と述べ、あくまでも敬老パスの自己負担導入の方向を定めるつもりはない態度に終始しました。

熊谷市議は「市長は新たな負担額を出した五日以降、市民の声を全く聞こうとしない」と批判し、他党派の議員からも同様の声が上がりました。

市民生活の向上に努めると、市の財政事情は二方向に押しつけられる計画だとほのめかすか」と市長の見解を問いました。

また熊谷市議は、財政構造改革プランが、お年寄りや障害者、生活保護世帯の生活に欠かさない扶助費が不足気味を背景として、あなたが分かっていただければ、

も財政悪化の要因の一つに挙げられており、これを指摘しました。

市の持ち出しとなる一般財源をリアルに見れば、扶助費は四百八十四億にすぎず、千六十二億にのぼる公費の半分以上は、財政構造改革プランの見直しで削減されています。

上田市長は、サービス水準切り下げと市民負担の強化は公共事業の縮減を抑制し、その上で必要が不足する部分については、財源確保が重要と、プランに固執する態度を繰り返しました。

3年間で市民負担増70億円 財政改革プランを批判

熊谷市議は、市が「医療助成の本人負担額の九割に引き上げた」と財政構造改革プラン（一〇〇六年度までの三年間で、市民一人一人への年間負担を七千七百円もの負担を上へさせるものだ」と、強へ批判しました。

熊谷市議は、昨年の札幌市の勤労者世帯の消費支出が十七年前の水準に収支不足「空口裏で、家計が苦しくなるほど市民生活が苦しくなっている」と述べ、財政構造改革プランは「前代未聞の

04年 9月30日

「巨大施設計画なし」

創世3区計画

市議会の代表質問 熊谷議員に札幌市長言明

「都心の過密・混雑助長」 共産党は反対貫く

札幌市議会の代表質問「産党の熊谷憲一市議は、表した」新まちづくり計

で九月二十九日、日本共 札幌市が九月に確定・発 画をとりあげ、特養ホー



創世3区計画の地域だった札幌市都心部 9月30日

しました。

創世3区計画は、一九

八八年に原案がつくら

れ、総事業費二千四百億

円、市費八百億円ともい

市営住宅

建設、老

朽校舎改

築、障害

児学級な

ど五つの

分野の施

設整備計

画の促進

や改善を

対してき

求めると

ともに、

か「創世

3区計画

は、

都心部の

すでに今

年度予算

から

大改造計

画である

計画から

も、今回

の「新ま

ちづくり

組んでいく」などのあ

いまいな答弁に納得せ

ず、再質問で「創世3区

計画として、新たな巨大

施設計画があるのかどう

か、明確にすべきだ」と

かさねて迫りました。

これには上田市長が

答弁に立ち、「巨大施設

計画はありません」と二

度にわたって言明し、創

世3区計画は消滅した

ことが明らかとなりま

した。

解をただ

都心のまちづくりに取り

上田文雄

都副市長の「新しい時代

市長の見

にふさわしい、秩序ある

04年10月1日

住宅リフォーム助成条例 実現めざしががんばります

札幌 飯坂宗子 市議団副団長が談話

日本共産党札幌市議 札幌市議団副団長 飯坂宗子氏が、市民の住宅改修を促進する「住宅リフォーム助成条例」の制定に向け、市議会に提案することを決意した。飯坂氏は、市民の住宅改修を促進し、地域の活性化を図ることを目的として、条例の制定を強く要望している。

飯坂氏は、条例の制定により、市民の生活の質が向上し、地域の活性化が図られることを期待している。また、条例の制定により、市民の生活の負担が軽減され、市民の生活が安定するようになることを期待している。

飯坂氏は、条例の制定に向け、市民の意見を聴き取り、条例の内容を充実させることを目指している。また、条例の制定後、市民の生活の質が向上し、地域の活性化が図られることを期待している。

います。

札幌市議会は、上田市政の誕生で、「オール与党」体制が崩壊し、課題によってはお互いが党と他党派が共同で取り組む可能性も生まれてきます。

今後、各界各層の方々と広く懇談をかさね、実現するまでねばり強くがんばります。

公表基準の策定へ

医療事故
札幌市立病院 坂本市議に約束

札幌市議会第二部決算特別委員会が五日、日本共産党の坂本持子議員は、医療事故の公表基準をめぐり、市立病院の医療事故の公表基準を定めるべきだと質問しました。

坂本議員は、昨年、市立病院の医療事故の公表基準をめぐり、市立病院の医療事故の公表基準を定めるべきだと質問しました。

市立病院の医療事故の公表基準をめぐり、市立病院の医療事故の公表基準を定めるべきだと質問しました。

公表基準を策定すべきだ。いつまでに、どのような考えか、と質問しました。

市立病院の医療事故の公表基準をめぐり、市立病院の医療事故の公表基準を定めるべきだと質問しました。

市立病院の医療事故の公表基準をめぐり、市立病院の医療事故の公表基準を定めるべきだと質問しました。

市民負担増許されぬ

財政構造改革プラン 宮川が追及



宮川 直樹

日本共産党の宮川直樹議員は五日、市議会第二部決算特別委員会で、上田文雄市長が九月二十二日に発表した「財政構造改革プラン」(案)について厳しく批判した。同プランは市財政が厳しくなる理由を「市民負担の増大」に求め、市議会は「市民負担の増大を許さぬ」として、市議会第二部決算特別委員会で、上田文雄市長が九月二十二日に発表した「財政構造改革プラン」(案)について厳しく批判した。同プランは市財政が厳しくなる理由を「市民負担の増大」に求め、市議会は「市民負担の増大を許さぬ」として、市議会第二部決算特別委員会で、上田文雄市長が九月二十二日に発表した「財政構造改革プラン」(案)について厳しく批判した。

「何事も変わらぬまま」として、米田博昭防犯部長は、法人市民税の増徴をめぐり、二〇〇〇年の増徴の策として、事業をすすめてきた結果として手詰まりした。

04年10月10日

福祉バス 70歳以上にも交付 小形議員に市側が答弁

日本共産党の小形善雄市議員は、十三日の市議会第二部決算特別委員会で、障がい者の福祉乗車証(福祉バス)について質問をした。

福祉乗車証は、障がい者や高齢の乗客が一般と異なる料金で乗車できるが、七十歳以上の障がい者は福祉バスが交付されていない。

敬老バスの改定案が示されて以来、障がい者に大きな衝撃と不安をもたらしている。福祉乗車証を七十歳以上にも交付することを目指す。市側が関係者から意見を聞き、早急に対応する方針を示した。

敬老バスの改定案が示されて以来、障がい者に大きな衝撃と不安をもたらしている。福祉乗車証を七十歳以上にも交付することを目指す。市側が関係者から意見を聞き、早急に対応する方針を示した。

数多く寄せられていた。小形議員は、障がい者の社会参加を目的に自己負担や利用上困難のない福祉乗車証について、「障がい者にも自己負担や上乗金を設けるのか」とも質問した。市側は「七十歳以上の方には、今の福祉乗車証を交付するのと同じく、今後の対応も検討していく」と答えた。

「高井と一安の」とも聞きの声ととも、「本心に変わらざるうちに一日も早く七十歳以上の障がい者へ、二階に福祉乗車証を交付するようにしてほしい」との声も寄せられている。

04年10月16日

札幌市議会自民党

政務調査費返還命令は当然

札幌高裁は二十日、自民党議員会の政務調査費流用について、「条例に反する違法な支出」と指摘し、千五百四十二万円と金利を市に返還するよう命じました。この問題で、日本共産党の宮川潤札幌市議団幹事長は次の談話を発表しました。

当然の判決です。日本共産党は、議会改革検討委員会などで、一貫し、流用は、当時の市議会にて、政務調査費について、長ポストをめぐる自民党で、市民には知る権利があり、領収書を添付し公開すべきだと主張してき

ました。自民党議員会は政務調査費を流用し、市議会

宮川党市議団幹事長が談話

議長（当時）の醜聞を掲載した雑誌を大量に購入し無料で配布しました。雑誌の購入に政務調査費を流用したことが、条例に違反するとして、二〇〇二年五月に住民監査請求がだされ住民訴訟に発展したものです。今回の判決は、「流用」の違法性をあらためて指摘したうえで、流用した資金を戻した後、各自民党議員に五十万円ずつ分配したのは「条例に反して違法」として返還を命じたものです。

日本共産党は、政務調査費の透明性を高めるため引き続き領収書の添付と公開を他会派に呼び掛けるとともに、議員歳費の引き下げ、費用弁償の削減など、議会改革に取り組みます。

共産党は一貫して

領収書添付と公開主張